

Ja-Net

季刊ジャネット

スリーエーネットワーク

July 2026

No. 118



Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介
千葉県 八千代市
- 5 みんなの“日本語View from the Other Side”
周全(中国)
- 6 教材紹介
「タスクで身につくビジネス日本語 聞き取り・メモ・文書作成」
「みんなの日本語 初級 第3版」発行のお知らせ
- 8 インフォメーション



沖縄全島エイサーまつり

巻頭寄稿

文化財を語る・文化財に語らせる —国境を越えて日本文化を伝える東京国立博物館—

東京国立博物館 国際部国際交流課

サミュエル・タン

来館者との「架け橋」

近年は訪日外国人が急増しており、日本文化を紹介する博物館にもその対応が求められています。「海外からの来館者」へ、日本の文化財の魅力をどのように伝えればよいでしょうか。東京国立博物館(以下、東博)の国際交流課では11人のスタッフが、日本語を母語としない来館者に向けた様々な業

務を担っており、私は同課に4人在籍している英語担当の1人です。

名前の通り、国際交流課は様々な面で交流活動の工夫をしています。国際交流課の前身である「国際交流室」では、2020年の国際的なスポーツの祭典に向けて2017年から作品解説の多言語化を進め、元々あった英語解説に、中国語と韓国語の説明を追加していきました。英語の解説も、より来館者の興味を惹く内容になるよう見直しを行いました。その他にも、全国通訳案内士の方向けの「日本の文化財を効

果的に説明する」ためのセミナー、そして海外の美術館などで日本美術を担当する専門家の研修や交流事業などの実施を通じて、東博のノウハウを共有・普及し、東博と世界中にある日本文化財の魅力をより広く、効果的に伝えることを目指しています。このように、国際交流課は日本文化発信の「架け橋」のような役割を果たしています。

直訳では伝わらない

皆さんも博物館へ行って「この作品はどう鑑賞したらいいの?」と思ったこと

があるのではないのでしょうか。そのときに、作品の前にある解説文(題箋)^{だいせん}が目につくでしょう。「これを読めば、この作品のことがわかるはず」と考えてご覧になると思うのですが、「解説を読んでもなかなか情報が頭に入って来ない」というときも、あるかもしれません。

良い解説文とは、わかりやすい説明を通して、来館者の興味を深めるものでしょう。良い解説文を書くためには、読者に何を求められているのかを理解しなければなりません。英語圏の博物館では、解説文は「チャット(Chat)」とも呼ばれ、来館者との対話をイメージしています。作品を説明するだけの一方的なものではなく、読者を意識しないといけません。

当課の英語チームは、日本人向けの解説文を単純に英語に直訳するということはしません。なぜなら、日本文化に馴染みの薄い海外からの来館者は、背景や文脈などの知識を持っているわけではなく、日本語の説明をそのまま翻訳すると、説明が通じない可能性が高いのです。外国人が興味を持ちそうなことを加え、日本語の紹介文を少しアレンジして、前提知識に関わらず作品を楽しめるよう工夫しています。

外国語で文化財を紹介する

とはいえ、翻訳時に悩むことは少なくありません。私は東博コレクション展(平常展)で書画のエリアを担当していますが、書跡は最も翻訳と説明が難しい文化財の一つです。外国人にとって、一番知りたいのは「何が書かれて

臨済宗妙心寺派の僧である盤珪永琢は、人はみな生まれながらに仏心を持ち、日常生活はすべて禅であるという「不生禅」^{ふしょうぜん}を、平易な言葉で民衆に説いたことで知られます。丸みのある字姿や、濃墨でゆっくりとした運筆によるかすれによって、悠然かつ重厚な作品となっています。

"All that you see is the Buddha's compassionate light." Written here is a verse from a classical Chinese poem reflecting the Buddhist beliefs of its calligrapher, Bankei Yōtaku (1622-1693). He held that all people inherently possess the compassion of a Buddha, which has always existed; it neither disappears nor arises from anywhere.

盤珪永琢は江戸時代の臨済宗禅僧、他主張「不生禅」、即人生来具有佛心、日常生活皆為禅、并运用通俗易懂的方式向民众说法。本作字体圆润、以浓墨书写且通过缓慢的运笔来实现枯笔、笔尖锐利、整体显得沉稳而厚重。

임제종 승려인 반케이 요타쿠는 인간은 불심을 갖고 태어나 일상이 전부 '선'이라 하는 '불생전'의 가르침을 알기 쉬운 말로 민중에게 설파했습니다. 둥근 글자 모양과 짙은 먹으로 표현한 비백은 사분하면서 중후한 느낌을 줍니다.

B-3673 一行書「触目是心光」

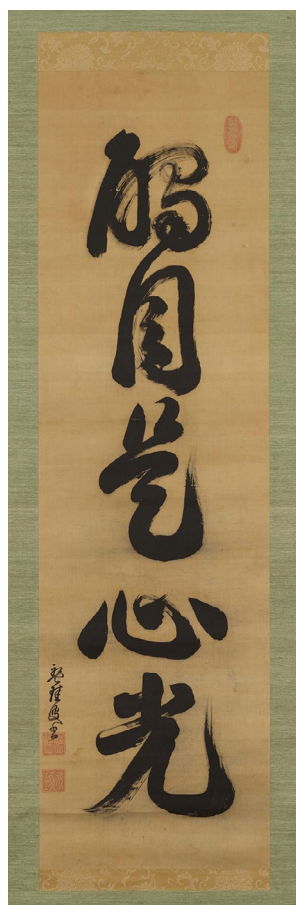


図1 一行書「触目是心光」

図2 図1の作品解説。英語では「目に映るもの全てが、仏の慈悲の光である」これは書家・盤珪永琢(ばんけいようたく)(1622-1693)の仏教的信念を反映した漢詩の一節である。彼はすべての人間は本来、仏の慈悲を宿しており、それは常に存在しているもので、消えたり、どこからか生じたりするものではないと説いた。」と説明する



図3 帷子「黒麻地水割紅葉文字模様(くろあさじひわれもみじもじもよう)」

いるのか」ということです。もちろん、墨の濃淡や個性のある字形・運筆などは鑑賞ポイントではありますが、漢字・平仮名・片仮名の見分けがつかない外国の方には、短い解説文ではどう説明しても魅力が伝わらないのです。したがって、書跡の英語解説文を書くときには、

出来る限り内容を中心にして紹介します。

最近翻訳したのですが、図1をご覧ください。「触目是心光」と書かれています。字形が崩れているものもあり、日本の方にも何と書かれているか、わからないかもしれません。そしてもちろん、漢字が読めない外国人にはどこが特徴なのかピンときません。これを意識しながら、図2の英語解説文を執筆しました。書かれている文字の英訳から書き始め、最も知りたい「何が書かれている」に先ず答え、立ち止まって

日本の文化財の魅力を世界へ

What would interest foreign visitors?

“What” and “Why”?

- Symbolism and significance of seasonal motifs (flowers, animals, insects)
- Historical context of artworks and portrayals
- Seasons' influence on art and decorative objects

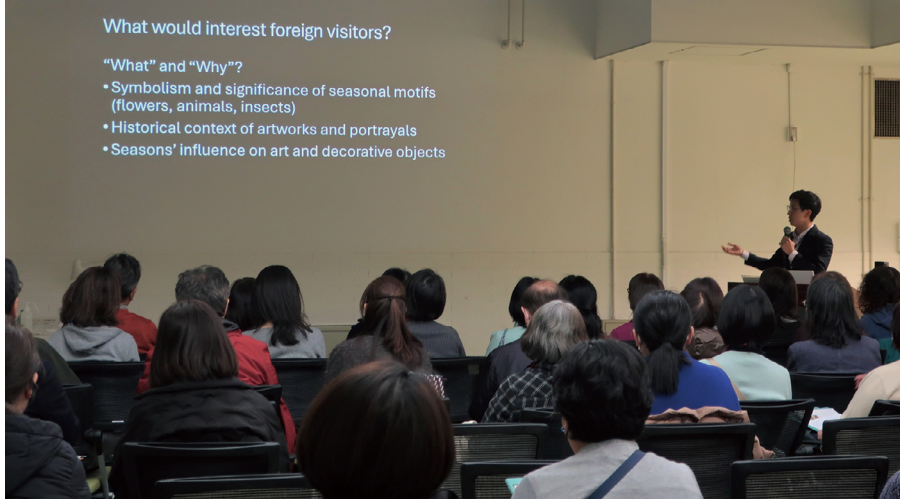


図4 全国通訳案内士の方向けに行ったセミナーの様子

もらうようにします。続いて、作品の背景(宗教、作家)を紹介し、「心光」と「不生禪^{ふしうぜん}」という仏教の専門用語の直訳を避け、わかりやすい文で作者の仏教に関する考え方を説明します。国際交流課ではこのように、ポイントが伝わる解説文の作成を心がけています。

東博のノウハウを伝える

今年2月には、全国通訳案内士の方向けに「四季のテーマを通して、いかに日本文化を紹介すべきか」というセミナーを実施しました。英語・中国語・韓国語の3言語で一週間ごとに実施され、英語は私が担当しました。約50名の方が東博までお越しください、訪日外国人を案内するときに外国語でどのように案内するのが効果的か、当館のノウハウを共有しました。

「四季」を選んだ理由は、海外でも馴染みがあり、わかりやすい切り口になるためです。日本の文化財を理解するためには、四季に関わるモチーフや模様なども説明しなければなりません。来館者が知りたい「何が描かれているのか(What)」「なんで描かれているのか(Why)」に答える形で、日本の文化財に見る四季から、日本人の考え方を紹介できる旨を共有しました。

具体的な例を見てみましょう。一般的に着物を着るときは、季節に合った模様のものを選びます。春は桜、藤な

どの春に咲く花柄にし、少し先取りで(特定の花が咲く少し前から)着る場合もありますが、「まったく違う季節の模様は着用しない」そうした思い込みがありませんか。東博コレクションには、氷と紅葉の模様の帷子^{かたびら}が所蔵されています(図3)。帷子は、麻でできた通気性のある夏の着物です。夏の着物に、季節外れの秋の模様があしらわれているのは、意外な感じがするかもしれません。これは「涼しさを望む気持ち」の表れです。このように「What」と「Why」を明確に伝えることで、日本文化への理解を深めていただくことができます。

また、セミナーでは、鑑賞する際に着物の質感などの、博物館でしか味わえないところに焦点を当てて来館者の方に共有してほしい旨を伝えました。

各国の日本美術専門家をつなぐ

国際交流課は、国境を越えて日本美術ネットワークのハブになること目指しています。最後にご紹介するのは2年に1回開催される「ミュージアム日本美術専門家連携・交流事業」です。本事業は、世界各地の日本美術専門家を招聘する一週間ほどのプログラムで、シンポジウムや専門家会議を通して、欧米・アジアなどの各国の博物館専門家の経験が共有できる貴重な交流機会です。

2025年度のテーマは「伝統技術の継承」でした。近年は日本文化財の保存修復を担当する専門家が減っていき、後継者不足に直面している状態です。これに、博物館はどのように対応すべきか、というテーマで意見交換しました。各国の専門家と、2019年に焼失した首里城の復元作業を見学しに行き、蛇皮線^{じゃびせん}や芭蕉布^{ばしやうふ}などの沖縄ならではの文化財と伝統技術も学んでもらうことができました。

各国から集まった専門家たちは皆、積極的に参加してくださり、交流している様子でした。帰国後には各々の所属する博物館で、更なる日本の魅力発信に務めてくださることと思います。

おわりに

ご覧いただいたような様々な事業を通して、東博は日本文化を世界中の方々に共有しています。文化財を語る・文化財に語らせる工夫を見に、ぜひ東博までお越しください。今年も日本で勉強する外国人留学生の皆さんが東博コレクション展を無料で観覧できる「留学生の日」を10月3日(土)に実施する予定です。当館でお待ちしております。



サミュエル・タン
(Samuel Tan)

1996年、シンガポール生まれ。ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)の比較文学学部を卒業後、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を通して北海道標津郡標津町の外国語指導助手として勤務。その後、コロンビア大学大学院で現代日本文学を専攻。2023年に再来日し、東京国立博物館の国際交流室(現国際部国際交流課)の英語担当に着任。
東京国立博物館 (<https://www.tnm.jp/>)

あちこち日本語ご紹介

千葉県 八千代市

地域に学び、地域を支える

理知の杜日本語学校 千葉校

教務主任 小宮山香里

団地の中の日本語学校

当校は千葉県八千代市の村上団地にある日本語学校です。2024年10月に開校し、現在はネパール、スリランカ、ミャンマーの学生が在籍しています。一番の特色は、団地の建物2棟が丸々学校になっていることで、1棟は低層階を学校、高層階を学生寮として使用し、もう1棟は全て学生寮となっています。学生たちの普段の生活の姿や、状況がよく見えるため、教職員は生活面でも丁寧にサポートすることができます。

村上団地は以前より、周辺の工場に務める南米の方が多く住む地域にあり、現在はアジアの方も増えています。このような環境の中に学校があるため、地域の方々は温かく私たちのことを受け入れてくださいました。

地域との交流

立地の特性から、学生たちは地域住民の方との交流機会が多く、学校全体でイベントごとにも積極的に参加します。団地の夏祭りで国の歌やダンスを披露したり、高齢者の方々が集まる施設でおしゃべりを楽しみ、一緒に日本の童謡を歌ったり、餅つき大会のお手伝いなども行いました。また、学

校主催のイベントも行っており、学校や学生のことを知っていただくため、学生寮でそれぞれの国の料理を作り、地域住民の皆さんやお世話になった方々をお招きして料理交流会を開きました。

料理交流会

準備段階では、まず去年の料理交流会の様子を見せ、交流会の意義「近隣住民の方に私たちのことを知ってもらい、さらに仲を深め、日ごろお世話になっていることに感謝する」を説明しました。そして、日本人に紹介したい料理、食べてもらいたい料理を考えてもらいました。ミャンマーにはサラダや和え物の料理も多く、ぜひ食べてもらいたいと言ってくれたのですが、保健所から「火を通していないものは出せない」などの注意がありましたので、学生たちは制約の中でメニューを考えてくれました。

料理や説明を書いたポスターを作成したのは、『みんなの日本語 初級Ⅱ』

や『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』で学んでいる学生たちです。ポスターには、作り方、どんな時にどうやって食べるのか、材料や調味料も書いてもらいました。そして、教職員や他の国の学生が日本人役になり、受け答えの練習を何度か行って、本番に備えました。ポスターには料理の絵や写真以外に、国の景色の写真を添えたり、国旗の絵を描いたりするグループもあり、当日、お客さんと料理以外の話でも盛り上がりました。来場者の皆さんから「おいしい!」「作り方を知りたい」と好評をいただき、学生たちは改めて自国文化への誇りを感じるとともに、日本語学習の成果も実感していたようです。

地域の一員として

近隣住民の方は、卒業式に参列してくださったり、学生のアルバイト先の飲食店にお客さんとして食べにきてくださったたりと、学内外で様々な交流が生まれています。このように、学んだことが地域の皆さんとのコミュニケーションや、地域のイベントごとにおける成果発表などですぐに活かされる環境にあり、学生のモチベーションアップにもつながっています。この温かい環境に感謝しつつ、本校は地域の一員として、互いが不安なく暮らせる環境と関係性を築き、地域の発展に貢献していきたいと考えています。



料理交流会の様子。料理を説明するポスターを掲示し、朝早くから寮で作った料理もたくさん並べ、国の文化や習慣の紹介もがんばりました

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



周全 (シュウゼン)

中国の山東医学高等专科学校看護学科卒業後、2008年来日。国書日本語学校で日本語を学び、日本語能力試験N1と日本の看護師免許を取得。2017年にIMSグループ明理会東京大和病院に入職。2026年3月より透析室看護部責任者に就任。患者やスタッフ一人ひとりに寄り添い、誰もが笑顔で働ける現場作りと、心の通う看護の実践に情熱を注ぐ。

illustration 内山洋見

患者さんや仲間と心がつながる喜び

が必須です。なんとか合格できたものの、試験が近づくと「落ちたらどうしよう」と毎日ドキドキして落ち着きませんでした。

しかし、看護師国家試験の時は、少し違いました。「合格発表を待つ間の、あの不安な時間はもう二度と味わいたくない」そう心に誓った私は、自分を信じられるまでやり抜くことにしました。午前中は日本語学校に通い、午後は図書館で閉館まで国家試験に備えて自習。寮に戻ってからも、深夜12時を過ぎるまで机に向かいました。そうして迎えた試験当日、問題を解き終えた瞬間に感じたのは、不思議なほどの静けさでした。「あんなに頑張ったんだから、後悔はない」。そう胸を張って言えるほど努力した経験は、今も私の人生を支える大きな宝物です。

現場で知ったこと

2010年、日本の病院での勤務が始まりました。そこで待っていたのは、教科書とは違う「生きた日本語」の壁でした。現場の会話は速く、最初は戸惑うことばかりでしたが、周りのスタッフが優しく支えてくれました。彼らの助けを借りて、一つひとつの言葉を自分のものにしていく中で、患者さんの本当の気持ちに触れられたような気がして、この仕事を選んで良かったと心から思えるようになりました。

るようになりました。

日本の看護観にも大きな感銘を受けました。中国では家族が担う患者さんの身の回りの世話を、日本では看護師がすべて行います。最初は不思議に思うこともありましたが、食事や着替えのケアの中にこそ、その人らしさが現れ、それを支えることこそが大切な「看護」なのだと気づきました。この「生活を支える看護」を知ったことで、私はより日本の看護が好きになったのです。

「心の架け橋」を目指して

一度は帰国したものの、「もっと深く透析看護を学びたい」という想いは消えず、2017年に再来日。IMSグループ明理会東京大和病院の透析室で経験を積み、現在は透析室看護部責任者として重責を任せていただいています。

患者さんからいただく「ありがとう」の言葉は、今でも私の原動力です。また、今は管理職としてスタッフの皆が安心して働ける環境を作ることも、私の大切な使命だと感じています。透析室は、患者さんともスタッフとも長いお付き合いになる場所です。だからこそ、心をつなぐ日々の何気ないコミュニケーションを大切に、皆で協力し合ってより良い環境を作っていくことに、この上ないやりがいを感じています。

未来の仲間たちへ

今、まさに日本で看護師・介護士を目指している留学生の皆さんに伝えたいのは、「“これだけ頑張ったのだから、絶対に大丈夫”と自分を信じられるほどの努力は、一生の宝物になる」ということです。言葉の壁や文化の違いに戸惑うこともあるでしょう。でも、あなたが心を込めて接すれば、心は必ず通じ合います。いつか、皆さんと共に働ける日を心から楽しみにしています。

日本との出会いと決意

私が日本に興味を持ったのは、中国での看護学生時代、外国の看護技術を学ぶプロジェクトに参加したことがきっかけでした。学びを深めるうちに、「外の世界を見てみたい!」という好奇心が抑えきれなくなったのを覚えています。同じ看護の専門職でも、異国の地で挑戦することで、自分の新しい可能性を見つきたい。そんな真っ直ぐな想いから、日本へ行くことを決めました。

夢を支えた猛勉強

日本に来て最初に直面したのは、言葉の壁でした。日本で看護師の資格を得るには日本語能力試験N1の合格

『タスクで身につくビジネス日本語 聞き取り・メモ・文書作成』

向山陽子・村野節子・山辺真理子 著

B5判 86頁 別冊48頁(予定) 1,760円(税込/予定) 10月発行予定

元武蔵野大学非常勤講師

村野節子

ビジネス場面では、研修などの報告書を作る、商談の内容を的確にまとめてメールで送るといったことは、「よくあること」と言ってよいでしょう。

これは日系企業で働く外国人社員にも必要とされる能力ですが、私たちが行った外国人社員対象の調査では上記の場面で困難を感じているということが明らかになりました。

話し手のメッセージを聞いて、その内容を把握し、要旨をまとめるという作業は非常にハードルが高いタスクです。しかしながら、このような一連の流れを持ったタスクを取り扱った教材は現時点では少ないと言えます。

そこで、私たちは、実際に直面するビジネス場面のタスクを分析し、真正性のある多様なタスクを作成して本書に収録しました。実社会で様々なタスクをこなすためには、教育用のタスクを繰り返すことが学習者にとって重要です。スモールステップ(聴解→メモ→メモの整理→パラフレーズ→文書作成)の学習を進めることで、複数のタスクを遂行できる能力の養成を目指し、本書を作成しました。

対象者・目的

本書は中級後半(N2)以上で、日本の企業への就職を希望する専門学校生・大学生やビジネスパーソンを対象としています。また、1課から10課の全課を通して次の4つの能力を身につけることを目標としています。

1. 聞く目的を意識し、会話や講義の内容を理解する(聴解)
2. 重要な情報を選択し、メモする(メモ取り)
3. メモを基に文書に適した表現に直す(パラフレーズ)
4. 情報を整理し、文書や資料を作成する(文書作成)

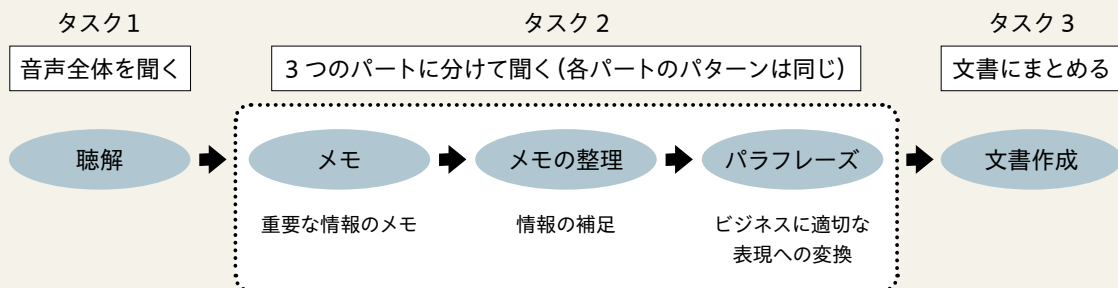
本書の構成

本書は基礎編と実践編の2部構成です。基礎編では、まずメモの取り方の基本を学び、上記の1～4の能力を少しずつ身につけることを目的とします。実践編では、基礎編で身につけたことを応用し、聞き取った情報を整理してビジネス文書を作成します。

基礎編では、各課は3つのタスクに沿って進めます(図参照)。まず音声の全体を聞きます。その後、全体を3つのパートに分けて音声を聞き、それぞれ「メモ」「メモの整理」「パラフレーズ(適切な表現への変換)」を行います(実践編ではパート分けなし)。最後に、聞いた内容を文書にまとめる練習を行います。ステップを踏んで文書化することで、聞き取った内容をまとめ、文書にする力を着実に付けることができます。

また、タスクとは別立てで、基礎編の各課に漢字語彙を積み上げるための問題や、パラフレーズの練習問題があります。

本書を使用してくださる方々が、タスクを繰り返し行うことを通して日本語能力を向上させることができ、また、実際のビジネス場面でも同様のタスクが遂行できるようになることを期待しています。



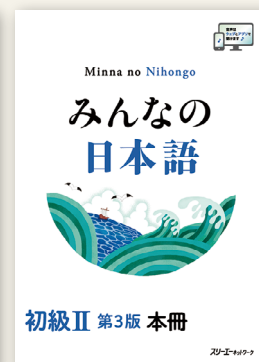
図：基礎編の各課の構成
*実践編は、タスク1と3は基礎編と同様ですが、タスク2は3つのパートに分けずに行います。

「みんなの日本語 初級 第3版」発行のお知らせ

改訂のご案内

現在の状況に合うように会話場面・語彙・表現の見直しを行いました。文法シラバスや各課の構成に大きな変更はありません。

『第2版』からの変更点(語彙・表現)、「会話」のタイトル、「問題」に収録されている対話トピック・読み物と関連タスクの一覧表などはウェブサイトからご覧いただけます。



シリーズ発行予定

* 税込み価格

みんなの日本語 初級I 第3版	みんなの日本語 初級II 第3版
好評発売中	好評発売中
本冊 2,750円	本冊 2,750円
翻訳・文法解説 各 2,200円	翻訳・文法解説 英語版 2,200円
英語版／中国語版／ベトナム語版	
ネパール語版／シンハラ語版／ビルマ語版	
標準問題集 1,100円	
9月発行予定	8月発行予定
漢字練習帳 1,210円	翻訳・文法解説 各 2,200円
書いて覚える文型練習帳 1,540円	中国語版／ベトナム語版／ネパール語版
	9月発行予定
	翻訳・文法解説 各 2,200円
	シンハラ語版／ビルマ語版
	標準問題集 1,100円
	時期未定
	漢字練習帳 価格未定
	書いて覚える文型練習帳 価格未定

音声の提供方法

『第3版 本冊』の音声は、当社ウェブサイトおよび音声アプリよりご利用いただけます。
詳細は当社ウェブサイト(<https://x.gd/aJCyf>)をご覧ください。



『第3版 本冊』と「第2版」の副教材を組み合わせるための資料を公開

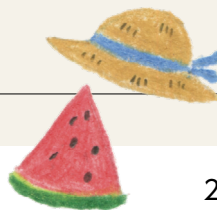
『第3版 本冊』と、「第2版」の『聴解タスク25』『初級で読めるトピック25』を組み合わせるための資料を公開しました。当社ウェブサイト(<https://x.gd/d2G0S>)より、ダウンロードしてお使いいただけます。



以上は2026年7月25日時点の情報です。シリーズ発行予定・改訂による変更点などの最新情報は、ウェブサイトですぐお知らせいたします。
ご不明点につきましてはウェブサイトをご覧ください。「第3版」発行後も、当面の間、現行版の「第2版」は継続して販売いたします。



みんなの日本語 初級Ⅱ 第3版 翻訳・文法解説 中国語版	2,200 円	8 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅱ 第3版 翻訳・文法解説 ベトナム語版	2,200 円	8 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅱ 第3版 翻訳・文法解説 ネパール語版	2,200 円	8 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅰ 第3版 漢字練習帳	1,210 円	9 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅰ 第3版 書いて覚える文型練習帳	1,540 円	9 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅱ 第3版 翻訳・文法解説 シンハラ語版	2,200 円	9 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅱ 第3版 翻訳・文法解説 ビルマ語版	2,200 円	9 月発行予定
みんなの日本語 初級Ⅱ 第3版 標準問題集	1,100 円	9 月発行予定
新装版 留学生のための アカデミック・ジャパニーズ 聴解 中上級	2,200 円	9 月発行予定
タスクで身につくビジネス日本語 聞き取り・メモ・文書作成	1,760 円 (予価)	10 月発行予定
J L P T 読解N2 ポイント&プラクティス	1,650 円	10 月発行予定



セミナー

思考を深め、書いて伝える力を伸ばす 外国につながる中学生・高校生のための日本語支援『自分の考えを伝える作文練習帳 外国につながる生徒のための日本語』を使ってー

講師：志村ゆかり

日時：8月22日(土) 14:00 ~ 16:00

会場：オンライン (Zoomを使用)

対象：中学校・高等学校で外国につながる
のある生徒の日本語学習を支援する
先生

定員：90名 参加費：無料

締切：8月18日(火) 定員になり次第締切

詳細・申込み

ウェブサイトをご確認ください。
さい。 <https://x.gd/6Sur9>



お知らせ

第65回 外国人による日本語弁論大会

日時：10月3日(土) 13:00開始

開催場所：井原市民会館(岡山県井原市井
原町311-1)

主催：井原市、独立行政法人 国際交流基
金、一般財団法人 国際教育振興会

観覧申込み

「共生社会の実現」「他者理解」に関するテ
ーマで、各国からの参加者が日本語で意見
を伝えます。観覧希望の方はこ
ちらからお申込みください。

<https://x.gd/vBbGg>



『新装版 留学生のための アカデミック・
ジャパニーズ 聴解 中上級』の変更点

『留学生のための アカデミック・ジャパ
ニーズ 聴解 中上級』は、9月に新装版を発
行予定です。新装版では、付属CDがなく
なり、音声はウェブサイトからのストリーミ

ング・ダウンロード配信のみとなります。聴
解のテーマや、練習問題の内容などに変更
はありません。

『タスクベースで学ぶ日本語 中級』

シリーズ 質問回答一覧

過去のセミナーで、参加者の皆さまから
寄せられたご質問に、教材の執筆者が回答
した「質問回答一覧」データを公開中。今年
3月のセミナーで寄せられたご質問と回答
を追加し、更新しました。カリキュラム作り
や授業準備のヒントにぜひご覧ください。

<https://x.gd/72vGp3>



表紙のイラスト

エイサーは、旧盆に行われる先祖供養の念
仏踊りです。沖縄各地の青年会が、三線や
歌のリズムに乗って太鼓を叩いて踊りなが
ら、街を練り歩きます。迫力のあるバチさば
きと躍動感のある踊りが見どころです。

季刊ジャネット

Ja-Net No.118

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリ
カ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地
域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうと
いう趣旨をシンボライズしています。

2026 年 7 月 25 日発行

● 発行人 藤崎政子
● 発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<https://www.3anet.co.jp/>

● デザイン パーシク 畑中 猛
● イラスト 竹永絵里 (P.1, 8)
● 印刷 (株) マイナビサポート
© 2026 by 3A Corporation
Printed in Japan (禁無断転載)

『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を
編集室までお知らせください。無料でお送りいたしま
す。次号は 2026 年 10 月 25 日発行予定です。